

# 住友化学 i-農力だより

<http://www.i-nouryoku.com/index.html>

第83号 平成23年11月30日  
発行 住友化学(株) アグロ事業部  
お客様相談室 0570-058-669  
編集者 佐伯晴子  
発行責任者 南 圭三郎

## 目次

農家さん訪問記 (67) . . . . .	p.1
食の安全性について考える(25) . . . . .	p.6
今月のお奨め農薬 . . . . .	p.7
今月のご相談から . . . . .	p.8
お役立ちプチ情報 . . . . .	p.9
農薬登録情報 . . . . .	p.10
病害虫発生情報 . . . . .	p.12
トピックス 営業所からこんにちは! . . . . .	p.13
最近の「お・美味い!」 . . . . .	p.15
編集後記 . . . . .	p.16



キジバト(ハ科)と かき(柿科)  
富樫 信樹 画

## 農家さん訪問記(67)

### 消費者との信頼が経営の基本!

今回の農家さん訪問は山形県天童市の森谷恵一さん(30歳)を訪問し、お話を伺いました。森谷さんは、観光農園「天童ふる里果樹園」を園長として運営する若手農家さんです。高品質の収穫物を販売することで消費者との信頼関係を築き、安定した、より高いレベルの農家経営を目指しています。「天童ふる里果樹園」は国道48号線沿いにあります。国道48号線は仙台と山形を結ぶ国道で、宮城県側は作並街道、山形県側は関山街道とよばれていますが、「天童ふる里果樹園」がある場所は観光農園が多く並んでおり、フルーツラインの愛称で親しまれています。(取材日:10月27日)



森谷恵一さん

### 父の背中で見えた農園経営

「天童ふる里果樹園」は、森谷家の観光農園で、園主はお父さんの森谷仙一郎さんです。さくらんぼを主体に、りんご、ラ・フランス、ぶどう、もも等を栽培しています。

森谷家ではこの地で代々農業を営んでいました。観光農園は、今から約30年前に、お父さんが始めました。それまでは、おじいさんが養蚕業と加工用果樹の栽培をしていましたが、当時、養蚕業の衰退で、山形県全体の農業の流れが変わりつつあり、観光農園に切り替える農家も出てきていました。この流れにのってお父さんは観光農園に切り替えたのです。観光農園に切り替えると、お客さんに来て



ふる里観光果樹園

って、徐々に自分の足で農園を歩き、農作業を手伝いながら、自分の目で見えるようになっていきます。自然にお父さんの後を継いで農園を経営する思いで、山形県立農業大学校に進みました。

なお、学生時代の森谷さんの趣味はバスケットボールで、今もボランティアで小学校のバスケットボールの指導を行っています。そして身長なんと190cmです。今回訪問したメンバーの南も180cmを越えますが、並ぶと小さく見えるほどです。

さて、農業大学校を出た森谷さんは国の研修制度を利用し、1年半ほどアメリカに留学しました。留学先はアメリカ北西部のワシントン州のりんご農場です。森谷さんが研修を受けたりんご農場はアメリカ国内のみならず、世界的なレベルで見ても屈指の規模を誇る農場です。同じりんご栽培でも、日本の農家と比較して桁外れに大きい農場の経営を学ぶことで、森谷さんの農業に対する視野は大きくなりました。このときの経験は、森谷さんが農園を経営するにあたっての大きな肥やしとなりました。

## 帰国後、すぐに就農

森谷さんはアメリカからの帰国後、22才で、すぐに就農しました。森谷さんの就農時、農園の面積は約2ヘクタールでしたが、その後徐々に増やし、現在では、さくらんぼが1ヘクタール、りんごが0.7ヘクタール、ラ・フランスが0.6ヘクタール、ぶどうが0.4ヘクタール、ももが0.2ヘクタールになっています。現在は、お父さんが県会議員に当選して議員活動が多忙になったこともあり、森谷さんが農場の運営を任されています。ただ、お父さんも農家を続けておられ、時間を作って農作業に従事しています。

就農当時から、森谷さんは「自分の方法が一番」といえる栽培方法を目指し、独自の栽培方法と見識を持った農家に教えを請い、色々な考え方に接し、納得すればどんどんその方法を取り入れてきました。このような動きで栽培方法や農園の運営を変えていくと、お父さんと意見が分かれることもあり、以前は喧嘩になることがよくあったそうです。お父さんはその長い経験に裏打ちされた栽培方法を守ろうとし、森谷さんは自分で見て、聞いて、納得した方法を主張すること

もらわなければなりません。お父さんは集客のため各地で営業活動を行い、多くのお客さんを集めてきました。多くのお客さんが来ると対応も忙しくなります。お客さんがバスで農園に到着すると、家族総出の対応が必要になり、お父さんはその頃生まれたばかりの森谷さんを背中でおんぶして、園内を案内していました。その頃、馴染みとなった関西方面のツアー団体が、今でも観光ツアーを引き継ぎ、毎年、農園に来るそうです。

お父さんの背中から見ていた農園経営も小学校、中学校、高等学校と進むに従

ふる里 天童 観光果樹園  
園長 森谷 恵一  
www.furusatokajyuen.com  
〒994-0103 山形県天童市大字川原子1640  
TEL.023(656)2622 FAX.023(657)3760  
メールアドレス info@furusatokajyuen.com

MEMO

天童のうまいけどもの  
安心して食べてください

この名刺をご持参の方は、入園料を10%割引いたします

森谷さんの名刺  
裏面が10%割引券になっています



夕日に映えるりんごの実

になります。しかし、今ではけんかすることも無く、お父さんの助言は取り入れるときは取り入れ、そうでないときは自分の考えを説明しています。森谷さんは「昔よりうまくつきあえるようになった」と笑っていました。

森谷さんのこだわりは品質の優れたものを栽培、販売し、「お客さんに好かれる、未永く付き合ってもらえる農園にする」ことです。このためには、最高の品質を維持できる丁寧な栽培方法が必要で、農園のすみずみまで目を行き渡らせ、手を入れていくには、面積を大きくすることはできません。このような方法では農園の経営規模は限定されてきますが、これが、農家と

しての良心の表れと、森谷さんは考えています。

栽培の根本は土作りです。森谷さんは師と仰ぐ農家の知恵を基に、有機肥料を主体に土作りを行い、樹勢のいい樹を育てています。また、果樹栽培では病害虫発生は取り返しのつかない結果を招く場合があります。さくらんぼの実を加害するオウトウショウジョウバエなどはその典型的な害虫です。オウトウショウジョウバエは成虫が果皮を破って果肉内に産卵し、幼虫が果実の中で成長します。この害虫の被害を受けると、出荷できる果実数が減るだけではなく、仮に販売した中に加害果実が1個でも紛れ込むと、いかに高品質のさくらんぼといっても、それこそ「話にならない」ことになります。そこで、オウトウショウジョウバエの被害を出さないよう、十分な防除が必要です。しかし、森谷さんは無闇に農薬を散布するのではなく、その年の害虫の発生状態を綿密に調べ、農薬販売会社とも連携し、タイムリーな農薬散布で害虫を防除しています。このような活動を続けることで、「天童ふる里果樹園」は「山形県エコファーマー」の認証を取得しています。



保冷庫で追熟中のラ・フランス

## こだわりの品質はお客さんへのメッセージ！

先に記した通り、果物の良さをお客さんに納得してもらい、固定客となってもらうことが、森谷さんの目標です。このためには、こだわりの作物を収穫するための栽培方法の改良だけでなく、他にもさまざまな工夫をしています。

例えばさくらんぼは収穫した時が最も美味しく、日数の経過と共に味が落ちていきます。農園に訪れたお客さんがもぎたてのさくらんぼを「美味しい！！」と思って、次の年に注文し、農園から送られてきたさくらんぼがやはり「美味しい！！」とならなければ、固定客にはなってもらえません。そこで、森谷さんは、収穫の翌日にはお客さんの手元に届くよう工夫しています。注文を受けたものは、朝収穫し、収穫したものは丁寧に取り扱い、その日のうちに発送します。時間との勝負です。市場やお店を経由したものに比べて、2日程の差ですが、お客さんの口に入るのが早くなります。そして、この差が商品としての値打ちになるのです。

この値打ちをお客さんにわかってもらうには直接話をするのが一番です。農園を訪れた人に話

をするのは当然ですが、さらにお客さんとの会話の場を拡げています。国道48号線を農園から車で30分程仙台方面に向かうと作並街道に入りますが、この街道沿いに作並温泉があります。作並温泉では朝市が開かれています。森谷さんはこの朝市に農園の果物を持ち込み、温泉客に「天童ふる里果樹園」をアピールし、固定客層の拡大をはかっています。朝市の良いところは、お客さんとじっくりふれ合えることです。この朝市での売り上げは、多くても農園全体の10%程ですが、大事なのは「天童ふる里果樹園」の味をお客さんに知ってもらうことなのです。



りんご園にて

山形県には県のブランドとして、「山形セレクション」の制度があります。この制度は県内の農作物、地場産業型工業製品、観光・サービス等の中から、「高い品質」、「安全性・安心感への配慮」、「山形の自然、歴史、文化の継承」、「山形の技術・技法の伝承」、「環境への配慮」からなる「山形基準」によって選ばれるものです。そして、平成18年、森谷さんの独自の活動が評価され、この「山形セレクション」に個人として認証されました。個人として認証されたのは、森谷さんが初めてのことです。



山形セレクションの看板

## 軌道に乗った今も勉強中！

就農から8年、森谷さんは結婚して一児の父となっています。栽培作業はお父さんの代から一緒に働いてきた3名と、森谷さんが主体で行っています。お祖父さん、お祖母さんも手伝っており、お母さんが農園の事務を担当しています。しかし、繁忙期にはアルバイトの人を募集します。さくらんぼの収穫時の2~3週間は本当に忙しいので、多いときは20名近くになるそうです。募集人数は栽培状況によって変動するので、年間で固定した形とはせず、季節に合わせて募集チラシを出しています。アルバイトの人を固定すると、規模拡大に向かいます。こだわりの品質とお客さんの信用を維持するため、適切な規模とし、規模拡大よりも内容充実を図っています。

森谷さんに農園の中を案内してもらいました。たわわに実がついたりんご園の横を通り、整備されたぶどう棚を潜って、さくらんぼを栽培している場所に至ります。ここで、さくらんぼの樹形づくりの工夫を



収穫が終わり、紅葉が始まったぶどう棚

見せてもらいました。さくらんぼの樹形は開心自然形、変則主幹形、変則開心形、主幹開心形等、種々あるそうですが、森谷さんは根元から枝が大きく広がった形の「ブッシュ開心仕立て」を試みています。これは大枝をロープで横に引っ張り、大枝の先が低くなるように仕立てています。この仕立てでは玉張りが良好で、剪定作業が楽になります。さらに、森谷さんはこのロープを引っ張り、「枝に雪が積もってもロープを引っ張り、枝をゆすると簡単に雪を落とすことができるんですよ。」と笑顔で説明してくれました。ただ、この方式



さくらんぼのブッシュ開心仕立て

では収穫時期が遅くなるため、全部をこの形には出来ないとのことでした。

インタビューの時、森谷さんは「栽培については勉強中です。50歳頃までに、本当に自分が一番と言えるようになりたい」と真剣な面持ちで語ってくれました。仲間との交流も大事な情報交換です。果樹関係は若手が多く、地域の仲間と勉強会をしたり、県内にいる農業大学時代時代の友人が集まったりして、主に栽培技術について相互に勉強し合っています。

## おわりに

農園の一部は高台になっています。訪問した日はよく晴れ、この高台からは南の蔵王山から続く山塊が麓から山頂までがよく見えました。この素晴らしい景色、農園案内時にいただいた「美味しい!!」りんご、森谷さんの謙虚でありながら、自信に満ちたお話、これらに接して、東京へ帰るのが少し億劫になりつつ、農園を後にしました。

今回の訪問は、森谷さんの相談相手でもある山形日紅株式会社・農材本部・天童営業所の今部所長のお世話で実現しました。どうも有難うございました。

(山脇・南)



高台にあるさくらんぼ農園からの風景  
画面手前は収穫を終えたぶどう園

天童ふる里果樹園のホームページ

<http://www.furusatokajyuen.com/index.html>

[目次へ戻る](#)

## 食の安全性について考える(24)

## アトピー性皮膚炎



挿絵：加藤さん

農薬を取り扱うにあたり、大きな3つの安全性が問われることになる。

第1は、農薬の取扱者すなわち農薬の製造、散布作業などに従事しているものが被害にあう場合、第2に、農薬が作物に残留し、それが摂取されて人体に影響を及ぼす場合、第3に、農薬が自然環境や生態系に及ぼす影響などについてである。特に、近年は環境運動の高まりとともに農薬への関心も一段と強まっている。それらのことを踏まえ、農薬の安全性について、わかりやすく解説した農薬工業会編「なるほど！なっとく！農薬Q&A」をしばらく掲載したい。（古津）

**Q: 農薬はアトピー性皮膚炎の原因だといわれていますが、本当ですか。**

A: アトピー性皮膚炎と農薬との間に関連があるかのように印象づけた報道や、アトピー性皮膚炎の治療場面や食品流通場面において、農薬がアトピー性皮膚炎の原因とする宣伝広告がみられます。

アトピー性皮膚炎は、痒みを伴い慢性的に経過する皮膚炎(湿疹)で、皮膚の生理学的異常(皮膚の乾燥とバリアー機能異常)に、様々な刺激やアレルギー反応が加わって生じると考えられています。現在まで、農薬とアトピー性皮膚炎との関連を示した報告はありません。

現段階では、アトピー性皮膚炎をひきおこす要因として、「遺伝的な体質」と「環境的な要因」が考えられています。

「遺伝的な体質」としては、体のなかに異物が入ってきた時にそれを排除するために働くIgE抗体<sup>注1)</sup>をつくりやすいという「アレルギー体質」と、皮膚が乾燥しやすく刺激に弱いという「バリアー機能の障害」が考えられています。「環境的な要因」としては、IgE抗体と結合してアレルギー反応を起こす「抗原」とアレルギー反応とは無関係に症状を悪化させる「抗原以外の外的刺激」が考えられています。そして、遺伝的にアトピー素因をもった人が発症するに至る因子や症状を悪化させる因子としては、かび、ダニ、ほこり(ハウスダスト)、花粉、卵、牛乳、ダイズといった食物などのアレルギー源、ストレス、また大気汚染、排気ガスなどさまざまなものが考えられていますが、どれが主役なのか脇役なのかは結論が出ていません。加えて、アトピー性皮膚炎そのものも、アレルギー反応だけですべてが説明できない側面もあるのです。農薬では、登録申請の際、皮膚刺激性試験、皮膚感作性試験が行われ、また、動物を使ったその他の試験の中でもその物質を与えたことによる影響を観察し、問題の有無を確認しています。

注1): IgE抗体は免疫グロブリンの1つで型(即時型)アレルギー反応において、原因となる蛋白質(アレルゲン)の暴露により産生されアレルゲンに特異的に結合します。IgE抗体は、白血球やマスト細胞の表面に結合して存在し、アレルゲンが結合すると化学伝達物質が細胞から周囲に放出されます。

## 参考資料

\* 竹原和彦『アトピービジネス』2000、文芸春秋

\* 社団法人日本皮膚科学会ホームページ <http://www.dermatol.or.jp>

[目次へ戻る](#)

## 今月のお奨め農薬

# ウイルス病を媒介するアザミウマ類の防除に ベストガード粒剤、ディアナSC

アザミウマ類、コナジラミ類、およびアブラムシ類は野菜や花き類に吸汁被害とウイルス病媒介で大きな被害を与えています。今月より3回に分けて、アザミウマ類、コナジラミ類、アブラムシ類の被害と防除法について特集します。

今月はアザミウマ類についてです。アザミウマの名前を漢字で書くと「薊馬」となるように、昔、子供たちが「馬出よ」などと言いながらアザミの花を振って中から出てくるアザミウマの数を競った遊びに由来すると言われていています。英名は「スリップス (Thrips)」です。

アザミウマ類は不完全変態昆虫で、幼虫と成虫は似た姿をしています。アザミウマ類の多くは体長1~2mm程度と小さく、また蕾や新芽の間隙を好むために、密度が低い場合には見つけるのが困難な害虫です。

名前の由来は牧歌的ですが、野菜・花き類の栽培上、特に施設栽培では吸汁被害とウイルス病を媒介する問題害虫です。アザミウマ類は一齢幼虫の時期に罹病植物(トスポウイルス\*)に感染している植物)を吸汁した場合にのみ保毒した成虫となり、病原ウイルスを永続伝搬します。保毒していない成虫が罹病植物を吸汁しても、保毒虫にはならず、ウイルスの伝搬もしません。また、経卵伝染もしません。

\*トスポウイルス:1本鎖RNAの植物ウイルス。世界では13種が報告され、日本では7種が確認されています。

### 【 日本での発生が報告されているトスポウイルス 】

ウイルス名	略称	主な感染作物	媒介するアザミウマ類
トマト黄化えそウイルス	TSWV	トマト、ピーマン、なす、すいか、ばれいしょ、レタス、きく、トルコギキョウ、ニチニチソウ、ダリア等 650 種以上の植物	ミカンキイロアザミウマ、ヒラズハナアザミウマ、ネギアザミウマ、ミナミキイロアザミウマ等のアザミウマ類
インパチェンスネクロティックスポットウイルス	INSV	ピーマン、インパチェンス、シクラメン、プリムラ、ペゴニア、マーガレット、りんどう	ミカンキイロアザミウマ、ヒラズハナアザミウマ
アイリスイエロースポットウイルス	IYSV	たまねぎ、にら、ねぎ、らっきょう、テッポウユリ、トルコギキョウ等 17 科 40 種以上の植物	ネギアザミウマ
キク茎えそウイルス	CSNV	トマト、ピーマン、アスター、きく、トルコギキョウ	主にミカンキイロアザミウマ
ピーマン退緑斑紋ウイルス	CaCV	ピーマン	アザミウマ類
メロン黄化えそウイルス	MYSV	メロン、きゅうり等ウリ科作物	ミナミキイロアザミウマ
スイカ灰白色斑紋ウイルス	WSMoV	すいか、にがうり、きゅうり	ミナミキイロアザミウマ

アザミウマ類の防除、特に海外からの侵入害虫であるミナミキイロアザミウマ、ミカンキイロアザミウマは高度の殺虫剤抵抗性を発達させているため、殺虫剤のみによる防除は非常に難しく、耕種・物理的防除、生物的防除、化学的防除(殺虫剤使用)等を組み合わせた総合的防除を行なう必要があります。

#### 1、耕種的・物理的防除：

- ・圃場内および周辺の除草を徹底する。
- ・ウイルス病感染苗は本圃に持ち込まない。発病株は速やかに除去・処分(埋設・焼却等)する。
- ・栽培終了後は施設内の蒸し込み防除を行なう。
- ・施設開口部に目合い1mm未満の防虫網を張る。
- ・紫外線カットフィルムで施設を被覆する、シルバーマルチ(反射マルチ)を利用する。

#### 2、生物防除：生物農薬として8剤が登録がある(天敵昆虫(ヒメハナカメムシ類、他):3剤、天敵ダニ剤(カブリダニ類):3剤、微生物製剤:2剤)

#### 3、化学的防除(殺虫剤使用):

- ・ベストガード粒剤(定植時処理)とディアナSC(生育期の散布処理)の組合せ防除がお奨めです。

\* アザミウマ類の薬剤感受性はアザミウマの種類、地域によって大きく異なりますので、地域の指導機関(農業改良普及センター、病害虫防除所等)の指導に従ってください。

(鳥取)

[目次へ戻る](#)



今月のご相談から

## 殺菌剤「サブロー乳剤」について教えてください！

**Q 1 . サブロー乳剤の特長を教えてください。**

**A 1 .** 園芸用殺菌剤「サブロー乳剤」の有効成分（トリホリン）の特長は以下の通りです。

エルゴステロール生合成阻害剤（E B I 剤）です。  
各種作物のうどんこ病、さび病に有効ですが、特に「ばら」の黒星病に優れた効果を発揮します。  
予防効果と治療効果を兼ね備えています。

**Q 2 . 毎年、芝に「きのこ状」のものがリング状に発生します。これに有効な殺菌剤としてサブロー乳剤があると聞きましたが、使い方とこの病害について教えてください。**

**A 2 .** 発生しているきのこ状のものは、フェアリーリング病とされます。サブロー乳剤はこの病害に有効ですので、発病初期に本剤の1000倍液を10 /m<sup>2</sup>散布して下さい。なお、この散布量はかなり多いと思われるのですが、フェアリーリング病の菌叢は比較的深いところ

（土中10cm程度まで）に形成されます。従って、菌叢まで薬液を到達させる為にはこれくらいの散布液量を必要とします。

防除薬剤の選定に当たっては、同系統の薬剤の連用は避け作用性の異なる有効剤とのローテーションで防除して下さい。なお、薬剤による防除だけでなく、未熟堆肥を使用しないこと、十分な散水を行うこと、サッチ（刈り取った芝）を適切に処分するなどの耕種的防除も重要です。

フェアリーリング病について

本病害には40～50種類の病原菌が関与していると言われてはいますが、わが国で全国的に問題となるのはコムラサキシメジ、シバフタケ、ホコリタケなどが主要なものです。これらのきのこ類自体は病原性はないものの、撥水性のある菌叢が根圏土壤に繁茂して、芝の根に水分が供給されなくなることで、リング状に芝が枯死するものです。従って芝が枯死するのは降雨が少なく芝地が乾燥する時期になります。一方、きのこ（子実体）の形成は5～6月と9～10月が多いものの、ホコリタケは盛夏に旺盛になります。



フェアリーリングの一部

**Q 3 . 「ばら」の新芽や新葉部分はやや茶色ですが、サブロー乳剤を散布した後に「縮れる」ようになるのは薬害ですか？**

**A 3 .** 本剤の注意事項には、「品種（クィーンエリザベスなど）によって高温乾燥時には薬害を生ずる恐れがあるので、所定の使用濃度（1000倍）を厳守するとともに、夏期などの高温時には朝夕の涼しい時に散布する」との記載があります。この症状はクロロシスといい、葉の葉緑素が抜けて白くなる現象です。従って、ご質問の症状（縮葉）からは本剤に起因する薬害とは考え難いところです。

ご承知のとおり、「ばら」の新芽や新葉部分は、日中水を撒いただけでも異常を生じることがありますので、特に初めて使用するような品種では、事前に小規模で薬害等が生じないことを確認してから使用して下さい。

**Q 4 . サブロー乳剤の注意事項には、「葉面散布剤（微量要素肥料）との混用はさける」との記載がありますが、その理由は何ですか？また、カルシウム剤との混用可否は如何ですか？**

**A 4 .** 混用することで物理性が悪くなり、そのために効力低下や薬害の心配があるためです。また、カルシウム剤との混用も同様の理由により避けて下さい。ご面倒ですがそれぞれ単用でご使用下さい。

（小川）

[目次へ戻る](#)



# お役立ちプチ情報

## 雑草の名前確認

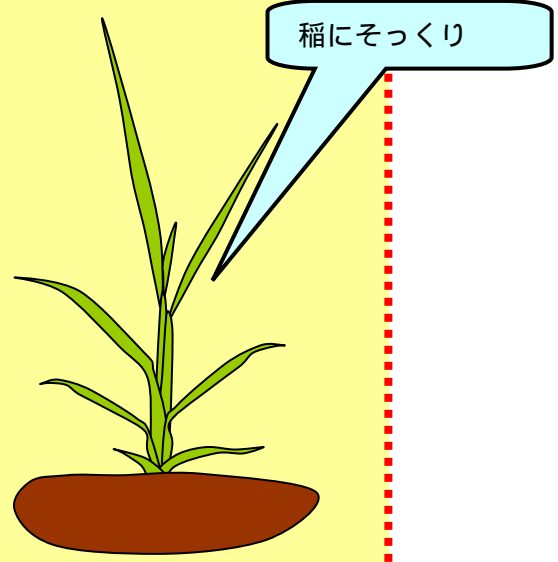
今月の話題は…

雑草の名前は各地で異なります。適用表の雑草名と対照させて、発生している雑草を正確に把握してください。

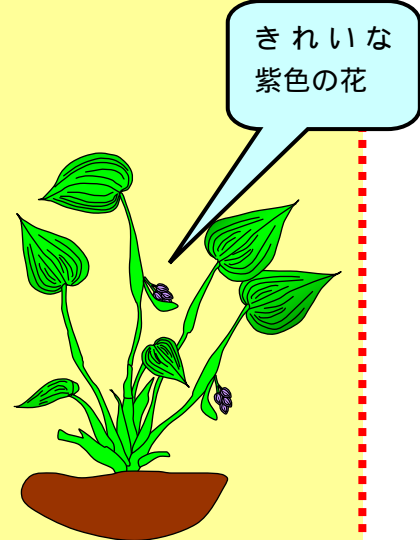
### 雑草名の方言

「雑草の博物誌」より抜粋

標準和名	ノビエ	コナギ	マツバイ	ウリカワ	ホタルイ	クログワイ
北海道	ヒエ	オイラン	ウシノケ	エリグサ	トウシミ	クワイモ
	スイデンビエ	ムラサキナツバ	ブタノケ	イモグサ	シカノツノ	ブタノケ
	アマラ	イモグサ	ネコノヒゲ	—	デンシンボウ	—
	アオビエ	ムラサキ	ネコゲ	—	ハナトシ	—
—	—	カワゲ	—	ネギクサ	—	
東北	ヒエ	アオイ	カヌゲ	スプタ	ハナトシ	ハナトシ
	イナハ	ツバキグサ	ネコノケ	ニラモ	ハナツキ	ネゴロ
	ヒ	ナギ	カゲ	ヌラモ	マルスゲ	アブラスゲ
	オニヒエ	ダンブ	ウシノケグサ	インノゲ	イグサ	イグサ
タンビエ	ハートグサ	イヌゲ	—	イモツリ	ビリビリグサ	
関東甲信	ヒエ	オモダカ	イノヒゲ	ウリッカワ	トウシン	トウシン
	シイ	フタツバナ	ネコッチ	ゲーロッパ	カサグサ	バチバチグサ
	タツバ	オドゲエ	モクモク	エゴ	ホシクサ	イゴ
	ラチビ	アオイ	リュウノヒゲ	ドジョウグサ	ツツツグサ	クワイ
ヒ	オトゲナシ	マツバエ	カミソリモク	ソロイ	アマイゴ	
東海	ヒエ	ウキクサ	ウシケ	ウリガワ	イ	ネブカ
	タビエ	イモガラ	ウシコケ	ナギ	イグサ	ソロイ
	オロ	ナギ	コケ	ウリノカワ	トウシミ	トウシミ
	—	ホウロウ	イヌノケ	ウリノカ	ヤリンボ	クワイ
—	イモグサ	ネコノケ	—	ソロイ	ソーレグサ	
北陸	ヒエ	イモナギ	ウシコケ	カイボナギ	イゴ	イゴヅル
	ヒエクサ	イモジグサ	ネグサ	ヨネヤマ	マルスゲ	ゴイ
	ノエ	タマメ	ウシコウゲ	イモクサ	スゲ	ガキノテッポー
	ヘータイ	イモナ	エヌノケ	ドジョウグサ	イグサ	クワイ
オロ	カメズラ	ジグサ	ミズモチ	ゴザノイ	クヤ	
近畿	ヒエ	ナギ	ウシノコオゲ	ヘラ	トウシミ	ソロエ
	ヘエ	ホリ	コオゲ	ウリノカワ	イグサ	クワイ
	ヘー	イモグサ	ウシノケ	テスベリ	ネブカ	イグサ
	—	ナゲ	コウゲ	ヤジロ	ソロイ	ベチベチグサ
—	—	—	シリホリ	ペリペリ	トウスメ	
中国四国	ヒエ	ナギ	ウシノケ	イモクサ	トウシミ	ゴヤ
	オンナビエ	イモバ	ハナヒゲ	トリノシタ	ハナトウシ	イモ
	ケイヌビエ	ツバキグサ	ウシノカワ	ツラワレ	イグサ	クワイズル
	オニビエ	ゴンバチ	ハリ	シリホリ	ユガラ	ユガラ
ヘー	タイモ	カミノケ	マタクグリ	センコウ	バチグサ	
九州	ヒエ	ナギ	ビールグサ	トリノシタ	イグサ	トウシミ
	イヌビエ	イモクサ	ウシノケ	ホリユリ	ジミグサ	クロイ
	ヒユ	カイガラグサ	ネコンケ	シンノハル	フクイ	ドベタングサ
	ケレビエ	ウキクサ	カナケ	ウマバリ	ジミグサ	ジミグサ
ヤコノシッポ	タイモ	ハリクサ	カッタグサ	ユガヤ	カンボイ	



水田雑草ノビエ



水田雑草コナギ

本年のお役立ちプチ情報はこの「雑草の名前確認」までです。

(山脇)

お役立ちプチ情報は、  
来月よりしばらくお休みします。

**農薬登録情報**

11月9日の主な適用拡大の内容です

**新規登録 平成23年11月9日登録**

〔除草剤〕 ショウリョクS粒剤 農林水産省登録 第22997号

作物名	適用病害虫名 及び雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の 使用回数	使用 方法	適用地帯
移植 水稻	スクミリンゴガイ (食害防止)及び 水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ	移植直後～ L12葉期 ただし、 移植後30日まで	壤土～ 埴土	3kg /10a	1回	湛水 散布	関東・東山・ 東海、近畿・ 中国・四国、 九州の普通期 栽培地帯及び 関東・東山・ 東海、九州の 早期栽培地帯

カルタップ を含む農薬の 総使用回数	イマゾスルフロン を含む農薬の 総使用回数	カフェンストール を含む農薬の 総使用回数	ダイムロン を含む農薬の 総使用回数	プロモブチド を含む農薬の 総使用回数
6回以内 (種もみ浸漬は1 回以内、床土への 混和、育苗箱への 処理及び側条施用 は合計1回以内)	2回以内	1回	3回以内 (育苗箱散布は 1回以内、本田では 2回以内)	2回以内

**適用拡大**

種類	薬剤名	変更点	作物	病害虫名	使用量ほか		
殺虫 剤	ゲットアウトWDG (北海道)	作物追加	あずき	アブラムシ類 ノメイガ類	3000倍 100～300 /10a	収穫7日前まで 3回以内 散布	
		作物追加	ごぼう	アブラムシ類	3000倍 100～300 /10a	収穫14日前まで 5回以内 散布	
		害虫追加	ばれいしょ	ナストビハムシ	3000倍 100～300 /10a	収穫7日前まで 4回以内 散布	
		作物名 変更	「豆类(種実、ただし、だいず、らっかせいを除く)」を 「豆类(種実、ただし、だいず、あずき、らっかせいを除く)」に変更				
		ジメトエート乳剤	作物削除 (負の拡大)	だいこん を削除			
		ジメトエート粒剤	使用時期 変更 (負の拡大)	だいこん	「は種前～収穫14日前まで」から 「は種前～収穫42日前まで」に変更		
		スミチオン乳剤	害虫追加	だいず (無人ヘリコプター による散布)	ウコンノメイガ	8倍 800m /10a	収穫21日前まで 4回以内 無人ヘリコプターに よる散布

種類	薬剤名	変更点	作物	病害虫名	使用量ほか			
殺虫 殺菌 剤	ディアナSC	作物追加	きく	アザミウマ類 オオタバコガ ハモグリバエ類	2500～5000倍 100～300 /10a	発生初期 2回以内 散布		
		作物追加	花き類・観葉植物 (きくを除く)	オオタバコガ ハモグリバエ類				
	マラソン乳剤	作物削除 (負の拡大)	食用プリムラ、食用金魚草 を削除					
		作物名 変更	しろうり うり類(漬物用)	ハダニ類 アブラムシ類	2000～3000倍 100～300 /10a	収穫前日まで 3回以内 散布		
				ウリハムシ	1000倍 100～300 /10a			
		使用液量 設定	かんきつ(なつみかんを除く)、りんご、なし、もも、 ぶどう、かき、おうとう、うめ、びわ					200～700 /10a
			だいず、えんどうまめ、あずき、いんげんまめ、 豆類(未成熟)、きゅうり、すいか、メロン、かぼちゃ、 にがうり、トマト、なす、ピーマン、キャベツ、カリフラワー、 ブロッコリー、はくさい、だいこん、かぶ、いちご、ねぎ、 たまねぎ、にんじん、ごぼう、ほうれんそう、セルリー、 レタス、あしたば、食用ぎく、よもぎ、花き類・観葉植物、 きく、サルビア、マリーゴールド					100～300 /10a
			たばこ					25～180 /10a
			稲					60～150 /10a
	サブロール乳剤	使用時期 変更 (負の拡大)	ピーマン	「収穫前日まで」から 「収穫開始 14 日前まで」に変更				
			ねぎ	「収穫前日まで」から 「収穫 7 日前まで」に変更				
		希釈倍数 変更 (負の拡大)	さやえんどう	「1000 倍」を「1500 倍」に変更				
		使用回数 変更 (負の拡大)		本剤の使用回数およびトリホリンを含む農薬の総使用回数を 「5 回以内」から「3 回以内」に変更				
		使用液量 設定	かき、もも					200～700 /10a
	いちご、メロン、きゅうり、なす、ピーマン、トマト、 さやえんどう、ねぎ、食用ぎく、きく、ばら					100～300 /10a		
殺虫 殺菌 剤	スタウトダントツ ディアナ箱粒剤	病害追加	稲 (箱育苗)	白葉枯病 もみ枯細菌病 穂枯れ (ごま葉枯病菌)	育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約 5 ) 1 箱当り 50g	移植 3 日前 ～移植当日 1 回 育苗箱の上から 均一に散布する		
		使用時期 変更		イネミズゾウムシ	「移植当日」を 「移植 3 日前～移植当日」に変更			

(佐伯)

[目次へ戻る](#)

**病害虫発生情報**

11 / 7 ~ 14

**愛知県**

\* 11月7日 注意報 なす(施設) / ミナミキイロアザミウマ

当社登録薬剤: アグロスリン水和剤、アグロスリン乳剤、ダントツ水溶剤、ディアナSC、バッサ乳剤、プレオフロアブル、ベストガード水溶剤

詳細は: <http://www.pref.aichi.jp/byogaichu/>**岡山県**

\* 11月10日 特殊報 にんにく / イモグサレセンチュウ

当社登録薬剤: 該当なし

詳細は: [http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec\\_sec1=239](http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=239)**徳島県**

\* 11月14日 注意報 いちご / ハダニ類

当社登録薬剤: ロディーくん煙顆粒、ロディー乳剤、粘着くん液剤

詳細は: <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/boujosyo/>**高知県**

\* 11月8日 特殊報 ブルースター(ルリトウワタ) / ブルースター青枯病(仮称)

当社登録薬剤: 該当なし

詳細は: <http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/byoki/boujoshou/>**佐賀県**

\* 11月8日 特殊報 キウイフルーツ / キクビスカシバ

当社登録薬剤: 該当なし

詳細は:

<http://www.pref.saga.lg.jp/web/shigoto/1075/32933/ns-nousisetu/boujocenter/13693.html>

適用内容を確認して、地域に適した薬剤をお使いください。

(小川)

[目次へ戻る](#)

★トピックス★  
営業所からこんにちは！

今月号より不定期で、社内各営業所からの話題を掲載することになりました。記念すべき第1回は仙台営業所です！

## 第一回仙台リレーマラソンに参加して

第1回仙台リレーマラソンは、来年5月に開催予定の仙台国際ハーフマラソンのプレイベントとして開催されました。タスキをつなぐリレーマラソンは、仙台の復興に向け、「人と人との絆をつなぐ」という意味がこめられています。

競技は、4人～15人でチームを作り、仙台市陸上競技場を中心とする宮城野原公園総合運動場内特設コース1周 1.4キロを、タスキのリレーで走り、42.195キロを制限時間の5時間以内に走ります。また、小学生・中学生・ファミリーを対象にした10キロのコースもあります。

メンバーは全員、最低でも1周は走らなくてはなりません。各自が何周走るかや走る順序は自由です。チームのカテゴリーは、男子、女子、男女混合、職場対抗、マスターズ。総合・カテゴリーごとにタイムで表彰されるほか、仮装賞も用意されており、様々な楽しみ方ができる自由で楽しい大会です。

そのリレーマラソンに、弊社アグロ事業部仙台営業所の有志を中心としたメンバーが、チームを作って参加しました。チーム名は「住友化学忍組」。メンバーのリーダーである五十嵐が、当日の様子をレポートします。さて、顛末やいかに？

「住友化学忍組様、仮装賞です。」

大会本部の方からお知らせを受けた時には「やった！」の思いで嬉しく内心ガッツポーズをとりました。と言いますのは、仮装賞を目指して頑張っていたからです。

仙台リレーマラソン参加を決めたときには、まずは参加すること、そして「楽しく走ろう、無理をせずタスキを繋いで完走できればいいよね」を合言葉に、タイム、順位、記録は全く口にせず、只ひたすら制限時間5時間で走りきれば御の字と思っていました。

でも、弊社水稲除草剤「忍」のキャンペーンで作った忍の衣装を全員で着て走れば仮装賞がもらえるかもしれないので、それを目指して頑張ろうと目的を定めました。

そこで開会式からなるべく皆でまとまって行動した方が目立つだろうと、固まってフィールドをうろろろしているとテレビ局のカメラを向けられたり、女性群、子供たちからも記念写真をせがまれたり、その時点から人気者でしめしめとっていました。



住友化学忍組

紹介が遅れましたが、我がチームはランナー経験のある渋谷・岩田・斉藤・五十嵐と若手から来田・今泉・村上の7名です。忍衣装は黒・紫・青・オレンジと色とりどりで、全員揃うと立派な忍者軍団です。さらに小池・畠山・倉石と3名の応援団が揃い、立派な一座が出来あがりです。そのまま役者として田舎芝居でもできそうで観衆の皆から見られるのもいいものです。テレビの夕方のニュースでも、忍者姿が映されました。

さて、ところがスタートしてみると皆真剣に大汗をかいて頑張り始めスゴイ、スゴイと思いました。1.4kmの周回コースで合計30周、合計距離にすると42.195kmのフルマラソンです。

一人2回走ることにして1周×2回、2周×2回、3周×2回と、各々の力に合わせて走りました。今回の仙台リレーマラソンは第一回ということで参加チームは324チームが出場し、その中には仮装のチームも沢山いてたいへん賑やかな大会となりました。

途中からは、このまま走っていても目立たないとメンバーの村上が言い始め、宣伝用に作った「忍」ののぼりを持って走ることを提案し、忍ののぼりがグランドを走り始めました。

応援と、ランナーが一体となってあっという間に時間が経ち、終わってみると何とナント、記録は3時間28分2秒と素晴らしいタイムで走ることが出来大満足です。職場対抗ブロックでは85チーム中80位、総合では292チーム中263位とまずまずの成績で、そのうえ所期の目的であった仮装賞をいただき、大満足で終わることができました。

今、仙台営業所にはタスキに各自のサインをして残してあります。仮装賞の表彰状も飾ってあります。仙台営業所をご訪問の際にはぜひ、汗の結晶を見てください。

来年はどんな仮装がよいだろうか？製品のキャラクター絡みで走れたらよいのだがと、今から思案中です。来年度も楽しく参加できればと思っています。

自分も走ってみたいと思われる方、一緒に走りませんか？

(仙台営業所 五十嵐)



「忍」ののぼりを持って激走！



見事仮装賞受賞！！

[目次へ戻る](#)

# 最近の「お・・美味しい！」

弊社相談室から佐伯がお送りします  
最近の「お・・美味しい！」  
女性の目・主婦の目・はたまた酒呑み??の目(笑)で、  
毎月「これぞ！」というものを紹介します。  
どうぞお楽しみに♪♪

## 美味！お手製のらっきょう漬

**元来、私はたまねぎやネギなどのユリ科の香味野菜が大好きです。**加えて、マリネとか酢の物などの酸っぱい味付けが好き。そんな私に友人が、自ら漬けた「らっきょう漬」を分けてくれました。そう、あのカレーの引き立て役「らっきょう漬」です。らっきょう漬はスーパーで買うものだと思っていた私にとって、手作りで漬けたらっきょうというのは、とても新鮮でした。まず、何しろ、らっきょう自体がデカイ！通常のらっきょうの倍はあるかという大きさ。そして、友人の好みの味付けということで、通常のらっきょう漬のあの甘～い感じとは違って、酸味が効いていてこれが私の好みにもバッチリ合う！本当に素晴らしく美味しい逸品だったのです。まず、最初にそのまま食べてみました。まだ浅漬けのようでしたが、フレッシュで歯応えがあって、そのままでも立派なおつまみ、いや、おかずになります(笑)。とはいえ、この味付けでこの歯応えなので、何か料理に使ってみたくなりました。そこで、色々試してみましたのでここでちょっとご紹介します。



**らっきょう漬は、しっかり味のついた言わば「ピクルス」**のようなものです。細かく刻めば味付けの一翼を担うのに最適な食材です。しかも加える調味料を使い分ければ、和風、中華風、洋風と自由自在です。まず簡単なものでは、友人が言っていた「納豆に刻んで入れる」というのをやってみました。これは入れるらっきょうの量がポイントです。あんまり入れすぎると納豆の味が負けますし、少なすぎるとらっきょうが活きません。「このくらいかな!？」と当りをつけて入れてみましたが、これが意外と合う！納豆のねっとり感と、らっきょうのサクサク感、それと納豆についてくるカラシとらっきょうの酸味が相まってなかなかの美味でした。



**中華風の和え物にもらっきょうは大活躍です。**今回は、ハムときゅうりとワカメに、らっきょうを細長く切ったものを加えて、醤油+ゴマ油+しょうが+らっきょう漬の汁を入れて和えてみました。やっぱりここでもらっきょうの歯応えがアクセントになって良い感じ。味付けも冷やし中華みたいな味付けになって美味。爽やかな一品となりました。

**らっきょうはピクルスみたいなものと言いましたが、**それなら「タルタルソース」に入れても合うんじゃない?と思って作ってみました。作り方は本当に適当ですが、刻んだらっきょうに、刻んだゆで卵、塩コショウと刻みパセリ(乾燥)、これらをマヨネーズで混ぜてできあがりです。これを洋風おかずの定番、シャケのムニエルに添えてみました。これもちょうど良い酸味が卵とうまくミックスされて見事シャケを引き立ててくれました。

**おそらくね、他にも刻みらっきょうとオリーブオイルで刺身のカルパッチョ風**にしてみたり、何なら、普通の煮魚(青魚が良し)にらっきょう漬の汁を加えてみたり、中華風のかき玉汁のアクセントで刻みらっきょうを最後に添えてみたりしても美味しいと思うんですね。次は何に使おうかな～と夢は膨らみます(笑)。

**友人いわく「(らっきょうは)いつも行く八百屋さんで**買った」とのこと。実はらっきょうを売っているところをあまり意識して見たことがなかったので、今度はちゃんと見てみようと思います。で、できることなら私も来シーズンはらっきょう漬に挑戦してみたいです(忘れなければですが・・(苦笑)！)。



(佐伯)

[目次へ戻る](#)

## ～編集後記～



植物生態学の調査方法に車窓からの観察調査があります。車や列車に乗り、窓からみえる植物群落やその分布を記録し、その地域の植生を大雑把に把握する方法です。今回の農家さん訪問で、新幹線に乗っている時、不図、車窓の点描をするのも面白いと思い、米沢から山形間の景色を記録しました。

米沢を出ると、稲を収穫し、ビニールで円筒状に梱包した発酵粗飼料用の稲が点在していました。これで、米沢牛が飼育されます。

置賜で水田の刈跡の稲藁を熊手で丁寧に掻き集めていました。栽培されていたのは「つや姫」でしょうか。それとも「はえぬき」でしょうか。いずれにしても丁寧な作業で作られる美味しいお米でしょうね。

赤湯付近では山麓に広がるぶどう畑、「金溪ワイン」の看板。酒飲みの私は思わず喉をゴクリ。

中川をすぎた山間にセイタカアワダチソウの大群落。以前は日本中で猛威を振るった草も今は山間に押し込められています（やっとな植物生態学的調査です）。

羽前中山あたり、老夫婦が仲よさそうに菜園で収穫中。その横は一面のコスモス畑。

あっという間に山形駅。車窓から見える家々は殆ど瓦屋根ではありません。古い蔵だけが瓦屋根でした。雪対策でしょうね。

素晴らしい風景は満喫しましたが、米沢牛のステーキ、地場の葡萄酒、山形の米、いずれも味わうことなく、山形を後にしました。誠に残念です。

（山脇）

今回の農家さん訪問でお邪魔した「天童ふる里果樹園」は、ホームページから注文ができます。

<http://www.furusatokajyuen.com/index.html>

注文ページには、「当園では、出来る限りお客様とのコミュニケーションをとりたくと考えています。」と書いてあります。また、ホームページの「くだもの豆知識」のコーナーには、ふる里果樹園で取り扱っている果物のおいしい食べ方や、保存の注意などが記載されています。お客さんとの交流を大切にし、おいしいものを少しでもおいしく食べてもらうための熱意が感じられるホームページです。ぜひ訪問してみてください。

私も、当日試食させていただいたりんご2種類があまりに美味しかったので、購入して持ち帰りました。購入したものは、甘みと酸味のバランスがとれた爽やかな味で、夫婦で楽しみました。現在、通販での購入を目論んでおります。

さて、今回訪問した天童市は、将棋の駒の生産で有名で、全国の駒の9割以上がここ天童で生産されているとのこと。春には、甲冑姿の人間が将棋駒になってプロ棋士が対局を行う「人間将棋」のイベントでも知られています。私も実は割と将棋好きで、対戦こそあまりしなかったものの、30歳の頃までは、将棋雑誌を読んだり、詰め将棋を楽しんだりしていました。道すがら、将棋駒のお店や将棋駒の形をした看板を眼にして、少し懐かしい気持ちになりました。



（南）

次月号の - 農力だよりは  
12月28日(水)の発行予定です。  
どうぞお楽しみに！！

[目次へ戻る](#)